



「怒」のふり

北源地町会

大野 貴由

「あつ、松本走りだー」右折信号の3台目に止まっていて私は目撃した。

先頭の車が、信号が青に変わった瞬間、直進の対向車が交差点に入る前に待ち構えていたようにスピードを上げ右



令和5年5月1日現在

総世帯数	1,368世帯
総人口	2,410人
男	1,151人
女	1,259人

折して走り抜けていくのを。その車に釣られたのか2台目の車も同様に行こうとして、横断歩道を右側から渡り始めた自転車と接触しそうになり急ブレーキ、険悪な状態となった。その後ろには当然歩行者も続いている。ふと我に返ったのか、その運転者はばつの悪い様子で頭を下げその場にとどまり、横断者が渡りきると走り去っていった。

比較的大きな交差点で、少し待てば右折の青い矢印が出るのに、それを待てずに釣られて危ない場面に遭遇したのだ。時間と心に余裕がなかったのかと思う。道の狭い松本で右折車が渋滞してしまつて、イライラのために起こる「松本走り」。あまりありがたくない命名がされ、私も気を付けなければと思う。

新学期を迎え、新し

いランドセルに黄色のカバーを掛けた新一年生や、少しなれたお兄ちゃんお姉ちゃん達が、道路を横断してからこちらに振り向き「ありがとうございました」と、ペコリと頭を下げる小学生。会釈をしながら渡る人たちに対してとても心が和み、穏やかになります。横断を促すとき、怒ったような顔で「早く渡れ!」とばかりに手先を払うような仕草ではなく左手のひらを上に向け、人にも車にも、「どうぞお先に」を実践していきたいと思う。

今の子供たちが将来、車を運転するようになったとき、「お先にどうぞ」の「松本モデル」を実践してくれたら、温かい優しい松本になっていく気がした春の陽射しの車内でした。

私の生き甲斐

宮村町二丁目町会

村松 典子

この文章が皆様の目に留まる頃には、6月にも入り、今の季節の早い移り変わりの中では、梅雨に入っているのではないかと思います。

今年の桜の開花は早かったですね。春が駆け足で通り過



ぎていきました。

その桜の花が咲きだす直前に、我が家の二匹のうち老犬(15歳)の方が、私の不注意でベッドから落ち、打ち所が悪く、痙攣、失禁と、続けざまに状態が変わり、慌てて動物病院に駆け込みました。幸い、医師の適切な処置とその後、家族の対応で桜の花が散る頃には何とか自力歩行が可能になり胸をなでおろしました。犬は人間の7倍の速さで年老いていくそうです。そんな彼らが私の生き甲斐の一つです。

夫婦二人暮らし、年齢も「高齢者」という類に入ってきている中、まだ動けているし、もろもろの対応もできて、町内の当番も務めることができているのもありがたいと思っ

ている今日この頃です。

なかでも、公民館で参加している「歌で健康力アップ講座」は本当に糧となつています。合唱をするのは中学校のクラブ活動以来のため、なかなか思うように声は出せないけれど、音符を見て歌詞を読み、声を出すのが今の私にとってはもう一つの生き甲斐になつています。公民館で皆と歌った後に図書スペースで本を選び借りて、家に帰って読書もする時間は、私にとって至福の時となつています。

もっといろいろな公民館活動に参加できれば嬉しいけれど、今の私の体力ではちょっと難しい。でも、体力が追いついてきたら他の活動にもチャレンジしたいと思っています。

センター長退任挨拶



第二地区
地域づくりセンター
前センター長
二木 昭彦

この3月をもって第二地区地域づくりセンターのセンター長を退任いたしました。第一地区に関わることができとても幸せでありました。

3月に行われた市長と住民の「こんだん会」で語られたように第二地区には多くの宝物があります。若い方にこの地域に愛着をもって住んでもらえるようにこれからも応援していきたいと思っています。

新任センター長挨拶



第二地区
地域づくりセンター
センター長
白井 美保

この4月に第二地区地域づくりセンター長に着任いたしました。懐かしさと新しさが交差する、独特の雰囲気の魅力の第二地区に着任できました喜びを新たにしています。

『いつも元気でニニニ』健康で笑顔の絶えない地域づくりの推進に精一杯努めてまいります。お導きのほどよろしくお願いいたします。

令和5年度

第二地区役員

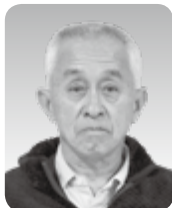
■町会長 ◎町会連合会長 ○同副

南源地 三村 隆彦
北源地 大野 貴由
梅ヶ枝町 川上 明彦
長沢町 ○太田 賀夫
錦町 ◎青柳 孝明
栄町 大久保庸夫
常盤町 寺嶋 修
中条東第1 原 喜一郎

新町会長紹介



北源地
大野 貴由



常盤町
寺嶋 修



中条東第3
青柳 茂



小池町
清水 伸一

中条東第2 岩佐 仁

中条東第3 青柳 茂

中条東第4 上兼 誠市

宮村町1丁目 ○上條 一茂

宮村町2丁目 瀬原田久隆

天神南小池町 丸山 悦雄

飯田町1丁目 曾根原清司

飯田町2丁目 小林 隆志

飯田町2丁目 村上 重義

小池町 清水 伸一

南源地 茅野 幸隆

北源地 ○牛丸 一利

梅ヶ枝町 清沢 庸光

長沢町 細田 良子

錦町 下林 清次

栄町 大久保庸夫

常盤町 ○市川 英夫

中条東第1 武井 一幸

中条東第2 松宗佳代子

中条東第3 青柳 和代

中条東第4 小笠原利恵

向島 永田 洋子

宮村町1丁目 深澤 正篤

宮村町2丁目 廣田 純子

天神南小池町 横山 和明

飯田町1丁目 林 真

飯田町2丁目 村上 圭子

小池町 ◎鴻田 益孝

福祉ひろば事業推進協議会

会長 太田 賀夫

副会長 井上真由巳

会計 丸山 悦雄

公民館五部門委員

(運営委員、館報編集委員、図書視

聴覚委員、体育委員、文化委員)

次号でお知らせします。

●第二地区職員の紹介

4月からの地域づくりセンター・福祉ひろば・公民館の職員体制です。また、第二地区には、生活支援コーディネーターが配置されておりまして、併せて紹介いたします。

▼地域づくりセンター

センター長 白井 美保

福祉ひろば

コーディネーター 野口恵美子

生活支援コーディネーター 小澤麻由美

公民館

館長 中島 雅子

主事(係長) 早坂 義導

事務員 栗田 幸信

小笠原利恵

西沢 智美

小澤 麻由美

野口 恵美子

小笠原 利恵

西沢 智美

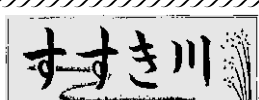
中島 雅子

早坂 義導

栗田 幸信

小澤 麻由美

野口 恵美子



「ま」「り」は一字で相手に意志を伝える若者の間で交わされている語である。特にメールやSNSで流行っている。私には何のことが解らなかつたが、「ま」は「マジ」の短縮で「本気」「本気」「り」は「了解」を意味する。確かに使用頻度が高いと「ま」と入力すれば、「マジ」「真面目」などと変換候補が出てくる。まさにスマホ世代の語である。

そして、巷には短縮標語があふれるようになった。テレビ番組のタイトルもカッコ良い表現だと言わなければならない。また、映画やビデオを鑑賞するのに速度を上げて結論を早く観ようとしている。

それにつれ、報道番組でもアナウンサーの口調が速く聞き取れないことが多くある。昔は1分間に2700字程であったのが、早いと3400字程になっている。NHKのアナウンスは3000字を基準としていようである。

言葉を伝えるスピードが速くなり、じっくり聞き取り、その意味を考えることが少なくなっているように思う。

(村上)